

## 23 地域医療プログラム

### 1. 到達目標

#### A) 一般目標

医療の全体構造のなかで、かかりつけ医として機能している診療所において、その役割を理解するとともに、名鉄病院を含む他の医療機関との連携の実際を経験することにより、この地域における医療連携の全体像を学ぶ。

#### B) 行動目標

##### (1) 診察

1. 診療所における、主訴、家族歴、既往歴、現病歴などを、効率的かつ正確に把握できる。
2. 理学的所見の重点的な取り方ができる。
3. プライマリケアにおける救急疾患の診察ができる。
4. プライマリケアにおける慢性疾患の診察ができる、
5. 生活者としての患者の社会的側面への理解を含め、全人的な診察法ができる。

##### (2) 検査

1. 身体所見から、診療所の能力の範囲内で、必要な検査を選択し、実行できる。
2. 当該診療所の専門性をいかした専門的検査ができる。
3. 病院へ依頼すべき検査を選択し、病診連携システムにより依頼することができる。

##### (3) 日常診療

1. 急性感染症を中心とした、代表的な感染症の治療ができる。
2. 当該診療所の標榜科の疾患に関して、外来治療法をよく理解する。特に、慢性疾患の管理ができる。
3. 標榜科以外の疾患にたいしても、プライマリケアとしての治療ができる。
4. 在宅診療の実際を経験する。特に、疾病の変化、新たな疾病の発現に注意をはらい、診断、治療ができる。
5. 他の医療機関との連携が必要な場合の判断ができ、かつその実施ができる。

##### (4) 地域保健活動

1. 予防接種が実施できる。
2. 一般健康診断ができる
3. 乳幼児健診や学校検診に参加し、その実際を学ぶ。
4. 産業医としての活動に参加し、その実際を学ぶ。

##### (5) 医師会活動

1. 医師会活動に参加し、医師会活動が理解できる。

### 2. 方略(On the job training(OJT))

- (1) 上記経験目標のなかで、各診療所の状況に応じ可能な項目の研修をうける。
- (2) 外来診療においては、指導医の指導のもとで、看護師、事務職員とともに診療にあたる。
- (3) 在宅医療などに随行し、指導を受ける。
- (4) 機会があれば、学校検診、産業医活動、医師会活動、講演会、研究会などに参加する。

### 3. 評価

- (1) 研修医は、EPOC2 の研修医評価表で、臨床研修到達目標項目の自己評価による研修達成度評価を行い、ローテート終了時に自己評価記載を完了する。指導医は、同評価表の研修医自己評価を確認し、当該ローテート研修の指導医評価記載を完了する。指導医による評価結果は EPOC2 上でフィードバックされる。
- (2) 臨床研修指導医は、EPOC2 上で診療・手技・患者マネジメントについて適時評価を行う。
- (3) 臨床研修指導医または上級医は、本カリキュラムの行動目標のすべてに対する観察を行い、ローテート面談を適宜実施し、形成的評価をフィードバック面談シートに記録する。ローテート終了時の面談では、適宜看護師などの指導者も入り、総合的評価のフィードバックを行い、フィードバック面談シートに記録する。
- (4) 臨床研修指導医は、研修医が作成した病歴要約により、経験すべき症候、疾病、病態に関する理解度について WPOC2 上で形成的評価を行う。
- (5) 上記評価の上、次のローテーションで何を学ぶべきかなど、目標達成の方向性を見出せるように省察の時間をもち、話し合いを行う。